広島平和記念式典派遣

総務課総務係　☎(63)2138

8月6日、広島では66回目の「原爆の日」を迎えました。市は、平成9年から毎年、中学生を広島に派遣しています。

東日本大震災による福島第一原子力発電所の事故後、放射能に関するニュースが連日報道され、原子力や放射能に関する感心が高まっています。

放射線の脅威が、私たちの生活を脅かすなか「核兵器廃絶」と「世界恒久平和」の実現を全世界へ訴える、広島平和記念式典に20人の生徒たちが参加しました。

派遣日程

8月5日(金)～7日(日)

初日
平和記念資料館、平和記念公園、原爆ドーム等見学

2日目
平和記念式典参列
灯ろう流し参加

3日目
原爆の子の像に折り鶴奉納
被爆体験講話学習

派遣団

団長
伊澤　博　校長(西中)

団員
中学校3年生　20人(敬称略)

東中　宮本　真考　伊藤　智功
松川　夏織　阿部　美咲
西中　崎山　一成　石原　円馨
五味田紗莉菜
北中　澤田　拓実　田野井利恵
小此木美朱
北犬飼中　若林　亮汰　宇賀神朝海
北押原中　福田　凌大　佐野　瞳
加蘇中　福田宗一郎
板荷中　阿部　仁実
南摩中　青木　梓
南押原中　神山なつみ
粟野中　小太刀光貞　大牧愛理子

引率者
伊澤　史明　教諭(北押原中)
渋江　貴子　教諭(北犬飼中)

灯ろう流し

毎年8月6日には、平和記念公園で灯ろう流しが行われています。原爆で亡くなった人を供養するために、その遺族や市民のみなさんが、手作りした灯ろうを川に流したのが始まりです。

最近は「平和への願い」を込めたメッセージを書くようになりました。私たちは、平和へのメッセージを灯ろうに書き入れ、元安川に流しました。

折り鶴奉納

各中学校では、派遣に先立ち平和への思いを捧げるために、千羽鶴を折りました。

原爆の子の像には、世界各国からたくさんの折り鶴が捧げられていて、「千羽鶴の塔」とも呼ばれています。ここに、私たちの千羽鶴を奉納し、平和を願う人々の強い思いを感じました。

被爆体験講話学習

講師の北川健次さんは、10歳のときに爆心地から1.3キロメートルの地点で、ピアノを弾いているときに被爆しました。

体験談では「広島の悲劇を二度と繰り返してはなりません。核のない世界を目指します」と、私たちに語りかけました。

ノーモアヒロシマ

日本は、世界で唯一の被爆国です。戦争と核兵器の恐ろしさを一番知っているのは、私たち日本人です。

私たちは「原爆の日」を体験し、平和の尊さや大切さを、多くのみなさんに発信していきます。